

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1年前期	1	1	必修（教職必修）
担当教員			
富田 寿人・平川 猛			
添付ファイル			

講義概要	生涯スポーツがさけばれているが、一般社会人の中で運動習慣を実際に持っている人はわずかで、ほとんどの人は運動をしていないのが現実である。また、生活習慣病の検診の結果、要注意となつた人の大半は日頃運動習慣のない人である。このように運動習慣を持つことは体力的ばかりでなく、予防医学の観点からも重要であることは周知の事実である。 本授業ではスポーツの楽しさを知り、運動することを身近なものにすることを目的とする。さらに、総合的な体力の向上も図る。																														
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>ガイダンス 授業の進め方や注意事項の説明を行う</td></tr> <tr><td>2</td><td>テニス ① グリップとフォアハンドストローク 動きの確認について A L ①を行う</td></tr> <tr><td>3</td><td>テニス ② フォアハンドストロークとバックハンドストローク 動きの確認について A L ①を行う</td></tr> <tr><td>4</td><td>テニス ③ ボレーとサーブ 動きの確認について A L ①を行う</td></tr> <tr><td>5</td><td>テニス ④ ダブルスゲームのルールとポイント 動きの確認について A L ①を行う</td></tr> <tr><td>6</td><td>テニス ⑤ ダブルスゲーム① ゲームの評価について A L ①を行う</td></tr> <tr><td>7</td><td>テニス ⑥ ダブルスゲーム② ゲームの評価について A L ①を行う</td></tr> <tr><td>8</td><td>テニス ⑦ ダブルスゲーム③と実技テスト ゲームの評価について A L ①を行う</td></tr> <tr><td>9</td><td>ユニホック ① ルールとパス 動きの確認について A L ①を行う</td></tr> <tr><td>10</td><td>ユニホック ② パスとシュート 動きの確認について A L ①を行う</td></tr> <tr><td>11</td><td>ユニホック ③ チームとしてのオフェンスとディフェンス 動きの確認について A L ①を行う</td></tr> <tr><td>12</td><td>ユニホック ④ ゲーム① ゲームの評価について A L ①を行う</td></tr> <tr><td>13</td><td>ユニホック ⑤ ゲーム② ゲームの評価について A L ①を行う</td></tr> <tr><td>14</td><td>ユニホック ⑥ ゲーム③ ゲームの評価について A L ①を行う</td></tr> <tr><td>15</td><td>総括と実技テスト 総括と実技テスト</td></tr> </table>	1	ガイダンス 授業の進め方や注意事項の説明を行う	2	テニス ① グリップとフォアハンドストローク 動きの確認について A L ①を行う	3	テニス ② フォアハンドストロークとバックハンドストローク 動きの確認について A L ①を行う	4	テニス ③ ボレーとサーブ 動きの確認について A L ①を行う	5	テニス ④ ダブルスゲームのルールとポイント 動きの確認について A L ①を行う	6	テニス ⑤ ダブルスゲーム① ゲームの評価について A L ①を行う	7	テニス ⑥ ダブルスゲーム② ゲームの評価について A L ①を行う	8	テニス ⑦ ダブルスゲーム③と実技テスト ゲームの評価について A L ①を行う	9	ユニホック ① ルールとパス 動きの確認について A L ①を行う	10	ユニホック ② パスとシュート 動きの確認について A L ①を行う	11	ユニホック ③ チームとしてのオフェンスとディフェンス 動きの確認について A L ①を行う	12	ユニホック ④ ゲーム① ゲームの評価について A L ①を行う	13	ユニホック ⑤ ゲーム② ゲームの評価について A L ①を行う	14	ユニホック ⑥ ゲーム③ ゲームの評価について A L ①を行う	15	総括と実技テスト 総括と実技テスト
1	ガイダンス 授業の進め方や注意事項の説明を行う																														
2	テニス ① グリップとフォアハンドストローク 動きの確認について A L ①を行う																														
3	テニス ② フォアハンドストロークとバックハンドストローク 動きの確認について A L ①を行う																														
4	テニス ③ ボレーとサーブ 動きの確認について A L ①を行う																														
5	テニス ④ ダブルスゲームのルールとポイント 動きの確認について A L ①を行う																														
6	テニス ⑤ ダブルスゲーム① ゲームの評価について A L ①を行う																														
7	テニス ⑥ ダブルスゲーム② ゲームの評価について A L ①を行う																														
8	テニス ⑦ ダブルスゲーム③と実技テスト ゲームの評価について A L ①を行う																														
9	ユニホック ① ルールとパス 動きの確認について A L ①を行う																														
10	ユニホック ② パスとシュート 動きの確認について A L ①を行う																														
11	ユニホック ③ チームとしてのオフェンスとディフェンス 動きの確認について A L ①を行う																														
12	ユニホック ④ ゲーム① ゲームの評価について A L ①を行う																														
13	ユニホック ⑤ ゲーム② ゲームの評価について A L ①を行う																														
14	ユニホック ⑥ ゲーム③ ゲームの評価について A L ①を行う																														
15	総括と実技テスト 総括と実技テスト																														
授業形態	実技 アクティブラーニング：①:13回, ②:0回, ③: 0回, ④: 0回, ⑤:0回, ⑥:0回																														
達成目標	1. スポーツ種目の基本的な知識と技術の習得をしている 2. ルールとチームワークを尊重する姿勢を持っている 3. 体調を整え、スポーツ活動に参加する体力を獲得している																														
評価方法・フィードバック	実践活動50点、取り組み20点および実技テスト30点として評価する。 フィードバックとしては、実技中または実技後に技術指導を行う。																														
評価基準	評価点が100～90点で目標3項目を達成していれば「秀」、89～80点で目標3項目を達成していれば「優」、79～70点で目標2項目を達成していれば「良」、69～60点で目標2項目を達成していれば「可」、59点以下であった場合は「不可」とする。																														

教科書・参考書	教科書：特になし 参考書：特になし
履修条件	なし
履修上の注意	持病を持っていたり、長期にわたる運動制限がある場合は、必ず担当教員に申し出ること。必要に応じて、診断書などを提出してもらうこともある。
準備学習と課題の内容	事前にルールなど、実技に関する知識を学習しておくこと。（予習復習それぞれ1.5時間程度）
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解: 10 %, 思考・判断: 20 %, 関心・意欲: 30 %, 態度: 10 %, 技能・表現: 30 %
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	